

令和6年4月22日（月） 全校朝会 校長の話

「だれかに喜んでもらうために」

はじめに、うれしいお知らせです。

玄関の右側に作っておいた巣箱に、ミツバチの群れが入りました。2年前に、千束小学校の木の根元に巣を作ってミツバチがやってきたときに、「千束ミツバチ探検隊」を作ってミツバチを守ってきましたね。ミツバチがまた来てくれるように、今回は主事の森津さんが巣箱を作ってくれました。そうしたら、先週の月曜日、15日に新しいミツバチの群れが来てくれました。台東区のような都会にミツバチの群れが来るのはとても珍しいことですので、大切に見守っていきたいですね。巣箱を見るときは、静かに柵の外側から見て、ミツバチを驚かさないようにしましょう。近くで見たい時には、森津主事さんに一緒に見てもらうようお願いしてください。



さて、今日は、土曜日に行われた、「浅草やぶさめ」のお話をします。やぶさめは、写真のように、馬に乗りながら正確に矢を射る、とても迫力のある行事です。校長先生が持っている木の



の板は、そのときの的になっている木です。この木の真ん中に矢が当たると、きれいに板が割れて、おおきな歓声が沸き起こります。校長室にあるので、本物を見たい人は、見に来てください。

この写真を見てください。誰だか分かりますか。そう。校長先生と、3月まで千束小学校の校長先生だった、瀧島校長先生ですね。私たちも、昔の人の服を着て、やぶさめの行列に参加し、やぶさめを応援してきました。迫力満点で、楽しかったですよ。



さて、この「浅草やぶさめ」ですが、浅草神社のお正月の行事として1月に行われていました。それが今は、台東区と浅草観光

連盟の人たちが準備をして、浅草に来るお客さんたちや、日本を訪れる外国の方々に楽しんでもらうために、行っています。隅田公園に、馬が走るためのコースを作ったり、馬や、矢を射る人来てもらったり、先生たちが着る衣装を用意したり、多くのお客さんのための席を作ったりなどなど、みんなに喜んでもらうための準備は本当に大変だと、準備をしている観光連盟の人がお話していました。それでも、昔の行事を守って、来てくれる人たちに喜んでもらうためにがんばっていると、お話しされていました。

このことは、千束小学校の皆さんがしていることと似ていると思いました。先週、1年生を迎える会を行いました。1年生のみなさん、楽しかったですね。千束小学校での生活が、ますます楽しみになりました。でも、この楽しい行事を行うために、多くの方が準備をがんばりました。司会の練習をしたり、プレゼントを作ったり、出し物の練習をしたりしました。みんな、1年生の喜んでくれる顔を思い浮かべながら、がんばったのですよね。たくさんの人の努力が実って、1年生を迎える会は大成功でした。

華々しいイベントの裏には、喜んでくれる人のことを考えて頑張っている人がいます。やぶさめに参加して、あらためて1年生を迎える会のことを思い出し、千束小学校のみなさんの頑張りは素晴らしいと感じました。

